

【はじめに】

今年度石井小学校では、徳島県小学校食育研究大会の開催を契機に、全学年で食育学習活動に取り組んだ。このうち3年生は、「野菜探検隊」を結成して石井町内で栽培されている特産野菜の秘密を探る食育学習活動を行うこととなった。

そこで、農林水産総合技術支援センターでは食を通じて地域農業への理解を深める目的で、石井小学校と連携して食育学習活動の支援に取り組んだので、その概要を紹介する。

【活動内容】

以下の取組みについて活動支援を行った。

(1) センター施設の見学 (6月30日)

生徒からの質問に答える形でセンターの業務内容を説明した後、サツマイモと藍の栽培試験圃場と農業機械施設を案内した(図1)。



図1 藍栽培圃場の見学の様子

(2) 野菜栽培の出前授業 (9月7日)

センターの職員が石井小学校に出向いて、5つの探検隊に分かれて各野菜(ほうれんそう、ブロッコリー、トマト、にんじん、サツマイモ)の特徴や



図2 出前授業の様子

秘密に関する授業を行った(図2)。

各探検隊は11月開催予定の発表会に向けて、町内の野菜生産者、量販店、直売所などを訪問し、授業で学んだ野菜の秘密を調査した。

(3) 試験圃場でのサツマイモ収穫体験 (9月28日)

センター内の試験圃場でサツマイモの収穫を体験してもらい、収穫したサツマイモを学校に持ち帰って食べてもらった(図3)。



図3 サツマイモ収穫体験の様子

(4) ほうれんそうの栽培実習 (10月7日)

センターの職員が石井小学校に出向いて生徒一人一人がプランターでほうれんそうを栽培する実習を行った。

プランターに培養土を充填して肥料を施用した後、西洋種、東洋種、サラダ用の3つの品種を播種した(図4)。

播種後、プランターを教室のベランダに置いて、各生徒が責任を持って灌水や施肥の管理を行った。

発表会が開催される1カ月後には収穫間近まで生育していた(図5)。



図4 栽培実習の様子

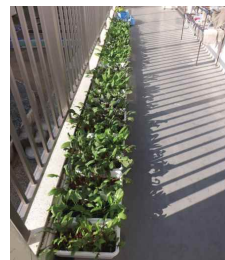


図5 ほうれんそうの生育状況

(5) 食育学習活動の発表会 (11月18日)

県下の小学校から約200名の先生が参加し、石井小学校で徳島県小学校食育研究大会が開催され、各学年の生徒が学習活動内容を発表した。



図6 トマトの秘密を発表する様子

3年生は、各探検隊の生徒が調査した野菜の秘密をクイズ形式で互いに発表し合った。

各野菜に含まれる機能性成分など、高度な内容について調査していたのが印象に残った(図6)。

【おわりに】

発表会終了後に生徒に感想を尋ねると、「野菜をもっと食べる」、「野菜栽培は難しかったけど、楽しかった」、「石井町でつくられている野菜の秘密がわかった」等の発言があった。

当センターとして、今後とも小中学生への農業の魅力PRに取り組むことにより、地域農業の理解促進に積極的に努めて参りたい。

(高度技術支援課 総合窓口・企画経営担当

黒田 康文)